

## 2.4 出典

---



2.1 ～ 2.3 に掲載した文献の出典は以下のとおりである。（掲載順に列挙）

## 2.1 論文・技術報告

- 1) 西村亮彦(2015), メキシコ・シティにおける公共交通指向型都市開発の展開に関する研究, 土木計画学研究・講演集 51 : No. 10
- 2) 西村亮彦・曾根直幸・栗原正夫・木村優介(2015), わが国における塀・垣類に係る伝統的工法の地域的な特徴に関する研究 -土塀・石塀-, 土木史研究・講演集 35 : 207-210
- 3) 上野裕介・長谷川啓一・大城温・神田真由美・井上隆司・栗原正夫(2015), メタ解析を用いた環境保全措置の効果検証：全国の道路事業での希少猛禽類 3 種の繁殖成否, 土木学会論文集 G(環境) 71(6) : II\_65-72
- 4) 西村亮彦・栗原正夫他(2015), 道路空間再構築における沿道建築物の修景手法に関する研究, 第 31 回日本道路会議論文集 : No. 1068
- 5) 上野裕介・長谷川啓一・大城温・井上隆司・栗原正夫(2015), 全国の道路事業における希少猛禽類 3 種への環境保全措置の効果検証, 第 31 回日本道路会議論文集 : No. 1081
- 6) 飯塚康雄・栗原正夫(2015), 街路樹の再生事例にみる更新方法に関する一考察, 第 31 回日本道路会議論文集 : No. 1082
- 7) 西村亮彦・栗原正夫他(2015), 親水空間の再生を伴う道路空間の再編手法に関する考察, 土木計画学研究・講演集 52 : 467-470
- 8) 西村亮彦(2015), Humanscape から読み解く都市空間の公共性 -メキシコ・シティ旧市街フアン・ホセ・バス広場を例に-, 景観・デザイン研究講演集 11 : 167-176
- 9) 西村亮彦(2015), 歴史まちづくり情報サイトの開設・歴史的風致の維持向上に効果的な土木施設等の整備手法に関する調査, 新都市 69(12) : 61-66

## 2.2 学会・シンポジウム要旨

- 10) 上野裕介・園田陽一(2015), はかる・調べる・予測する：新技術が拓く造園学イノベーション, ランドスケープ研究 79(3) : 274
- 11) 上野裕介・栗原正夫(2015), 機械学習を用いた希少種の生息環境評価における課題：地域性と空間的汎用性, 日本景観生態学会講演要旨集 : 89
- 12) 上野裕介(2015), 鳥好きのための GIS 入門 (その 3), 日本鳥学会講演要旨集 : 225
- 13) Naoyuki Sone・Yusuke Ueno・Masao Kurihara・Masashi Kato(2015), Green Roofs as Urban Habitats for Birds and Aerial Insects in the Tokyo Metropolitan Area, Proceedings of WGIC2015 : 44

- 14) Masashi Kato・Hiroataka Suzuki・Naoyuki Sone (2015), A Possibility of Stained Green which is an Attached Type Planter on the Window, Proceedings of WGIC2015 : 46
- 15) 西村亮彦・曾根直幸・栗原正夫他(2015), 塀・垣類に係る伝統的工法の地域的特徴に関する研究, 文化的景観研究集会講演・報告資料集 7 : 19
- 16) 西村亮彦(2015), 土木施設等に係る伝統的工法を活かした地域づくり, SAT テクノロジー・ショーケース 2016 「プログラム&アブストラクト」集 : 70
- 17) 上野裕介(2015), 生物多様性を活用したインフラ整備と地方創生の可能性, 日本生態学会第 63 回全国大会講演要旨 : S03-4

### 2.3 雑誌・特集記事等

- 18) 曾根直幸・上野裕介(2015), 都市における生物多様性保全に向けた研究動向, 土木技術資料, 57 (8) : 45-46
- 19) 西村亮彦・曾根直幸・栗原正夫他(2015), 土木施設に係る伝統的工法を活かした歴史的風致の維持・向上, 土木技術資料, 57(11) : 10-13
- 20) 山岸裕(2016), 河川管理における外来植物の分布拡大の抑制土木技術資料, 58 (3) : 44
- 21) 荒金恵太(2016), 「防災公園の計画・設計に関するガイドライン(案)」の改訂, 土木技術資料, 58 (3) : 45